

[標準様式例 7-3]

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	R 1 道路施設の老朽化が地域に与える経済影響検討業務
業 務 概 要	本業務は、道路施設（橋梁）の老朽化が地域に与える経済損失について検討するもので、幹線道路の予防保全型メンテナンスの促進に資するため、機能不全が生じる前にメンテナンスを行うことで確保される経済活動への影響を、定量的に把握する手法の検討を行い、経済的影響について試算を行う。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部の名称及び所在地	支出負担行為担当官 関東地方整備局長 石原 康弘 埼玉県さいたま市中央区新都心 2 番地 1
契 約 年 月 日	令和 2 年 1 月 3 0 日
契 約 業 者 名	R 1 道路施設の老朽化が地域に与える経済影響検討業務パシフィックコンサルタンツ・日本総合研究所設計共同体
契 約 業 者 の 住 所	東京都千代田区神田錦町三丁目 2 2 番地
契 約 金 額	2 4, 9 7 0, 0 0 0 円（税込み）
予 定 価 格	2 4, 9 7 0, 0 0 0 円（税込み）
随意契約によることとした理由	本業務を遂行するためには、高度な技術や経験を必要とすることから、技術力、知識、経験及び業務への取り組み姿勢に関する技術提案を求め、簡易公募型に準じたプロポーザル方式により選定を行った。 R 1 道路施設の老朽化が地域に与える経済影響検討業務パシフィックコンサルタンツ・日本総合研究所設計共同体は、技術提案書をふまえ当該業務を実施するのに適切と認められたため、上記業者と契約を行うものである。
業 務 場 所	関東地方整備局管内
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 （ 自 ）	令和 2 年 1 月 3 1 日
履 行 期 間 （ 至 ）	令和 2 年 6 月 3 0 日
備 考	会計法 2 9 条の 3 第 4 項 予決令第 1 0 2 条の 4 第 3 号

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。